

令和6年度公益財団法人岡山県動物愛護財団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	<p>1 講習会活動事業</p> <p>令和5年度に新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に移行されたことで平常時に近い啓発活動が実施することができた。</p> <p>(1) 犬のしつけ方教室 犬のしつけ方について学んでもらい、基礎的なしつけ方のトレーニングを飼い犬とともに学んでもらった。 飼い主と飼い犬の良好な関係を保ち、地域の人達に親しまれる犬の育成を図った。</p> <p>(2) 犬・猫の飼い方講習会 飼育する場合の決まり事及び適正な飼育方法等について学習してもらい、飼い主と飼い犬・猫との良好な関係を保ち、地域の人達に親しまれる犬・猫の育成をすることにより、適正な飼養の普及を図った。</p> <p>2 動物愛護推進事業</p> <p>(1) 動物とのふれあい教室 犬等との接し方、生き物の命の大切さを知ってもらい、実際に動物に接することから生き物のぬくもりやおもちゃとの違いを体感を通して動物愛護の啓発を行った。 予約なしの来場者に対しては、ウサギ・モルモットへの餌やり体験を中心に実施した。</p> <p>(2) 犬・猫の譲渡会 収容された犬・猫で飼い主のわからなかったものについて、人の社会に順応できる犬・猫になるよう社会化を行い、事前に講習会を受講し、譲渡条件に合う希望者に譲渡した。 猫の収容が多いため、臨時に緊急猫の譲渡会を開催し譲渡数増に努めた。</p> <p>(3) 動物愛護週間関連事業 動物愛護週間を中心に、動物愛護センター、岡山、倉敷、赤磐、高梁、井笠、真庭の各地区において、獣医師会等との共催により、写真、パネル展示等を中心とした催しを行った。一部では犬のしつけ方教室、相談コーナー等が開設された。</p> <p>(4) ボランティアの募集及び育成・管理 ボランティア（ボランティア犬飼い主を含む）を希望する個人及び団体を募集した。趣旨に賛同する者に対してオリエンテーションを行い、ボランティア登録を行った。また、登録者に対しては研修会を開催した。</p> <p>(5) 北広場（ドッグラン）の運営 犬を放して遊ばせるドッグランの利用促進に努めた。</p> <p>(6) 親子向けイベントの開催 5月、8月に親子向けの物作り及び動物について学べる催しを開催した。</p> <p>(7) 譲渡犬の里帰り交流会 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催した。</p> <p>(8) 譲渡猫写真展の開催 譲渡猫の愛されている様子の写真を通して、動物愛護の啓発を行った。</p> <p>(9) 公開セミナー 災害時にも大切な愛犬・愛猫の命を守るため日常からできる防災対策等について「愛犬・愛猫のための防災知識」と題したセミナーを開催した。</p> <p>3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集と会報「しっぽ通信」の発行を行った。</p> <p>4 広報活動</p> <p>(1) ポスターの掲示 動物愛護精神の高揚を図るため、保健所・市町村・動物病院等にポスターの掲示を依頼し、普及啓発を図った。</p> <p>(2) 啓発資料の作成 リーフレット、テキストブック、子ども用啓発資料、啓発パネル等を作成し、犬のしつけ方教室、犬・猫の飼い方講習会、動物愛護週間行事など各種啓発事業に活用した。</p> <p>(3) ホームページの拡充 各種イベントの案内、犬・猫の譲渡に関する情報等の提供を行った。</p> <p>(4) 広報紙の発行 動物愛護や各種イベントに関する情報を掲載した「動物愛護センターだより」を発行し、岡山県各出先機関、市町村及び関係機関等に配付した。</p>	27,594,251

2 助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図った。	1,350,690
3 相談事業	1 電話・メール等による「動物なんでも相談」を行った。 2 犬・猫の適正飼養及び不妊去勢の啓発 動物愛護センターへ搬入される犬・猫の絶対数の減少に努めるとともに、不妊去勢手術を奨励し、動物愛護思想の啓発を行った。	363,086
4 調査研究事業	動物愛護や適正飼養にかかる調査研究のため、各種図書及びDVD等を計画的に整備充実するとともに、整備した資材については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行った。	526,329
5 収益事業	愛護館利用者を対象に首輪、リード、迷子札等動物用グッズの販売を行った。	42,601
6 財団法人の管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業並びに管理運営を行った。	1,728,532
合 計		31,605,489

貸借対照表

令和 7 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	6 年 度	5 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,324,854	9,712,001	612,853
前払利息	108,657	108,657	
商品	153,043	172,291	△ 19,248
流動資産合計	10,586,554	9,992,949	593,605
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	99,908,000	99,908,000	
定期預金	92,000	92,000	
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	
(2) 特定資産			
普通預金	6,144,045	8,081,228	△ 1,937,183
特定資産合計	6,144,045	8,081,228	△ 1,937,183
(3) その他固定資産			
什器備品	3,368,560	3,147,020	221,540
什器備品減価償却累計額	△ 1,787,098	△ 2,921,265	1,134,167
電話加入権	30,000	30,000	
投資有価証券	18,163,980	18,163,980	
その他固定資産合計	19,775,442	18,419,735	1,355,707
固定資産合計	125,919,487	126,500,963	△ 581,476
資産合計	136,506,041	136,493,912	12,129
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,158,841	1,163,530	△ 4,689
流動負債合計	1,158,841	1,163,530	△ 4,689
負債合計	1,158,841	1,163,530	△ 4,689
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	35,347,200	35,330,382	16,818
一般正味財産	35,347,200	35,330,382	16,818
正味財産合計	135,347,200	135,330,382	16,818
負債及び正味財産合計	136,506,041	136,493,912	12,129

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	6 年 度	5 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	400,001	400,001	
基本財産受取利息	400,001	400,001	
受取会費	2,060,000	2,051,000	9,000
正会員受取会費	1,340,000	1,281,000	59,000
特別会員受取会費	720,000	770,000	△ 50,000
事業収益	57,714	89,250	△ 31,536
販売品収益	57,714	89,250	△ 31,536
受取補助金等	28,340,000	27,840,000	500,000
受取地方公共団体受託金	28,340,000	27,840,000	500,000
受取寄附金	634,236	5,888,310	△ 5,254,074
受取寄附金	634,236	5,888,310	△ 5,254,074
雑収益	130,356	90,179	40,177
受取利息	100,076	90,179	9,897
雑収益	30,280		30,280
経常収益計	31,622,307	36,358,740	△ 4,736,433
(2) 経常費用			
事業費	29,834,356	30,228,332	△ 393,976
給料手当	11,770,650	11,799,615	△ 28,965
臨時雇賃金	2,736,664	3,819,850	△ 1,083,186
福利厚生費	2,466,881	2,724,035	△ 257,154
教材費	168,662	160,737	7,925
需用費	76,104	87,170	△ 11,066
研修費	20,600		20,600
諸謝金	25,520	33,200	△ 7,680
助成費	1,025,000	457,000	568,000
消耗品費	2,662,034	2,058,637	603,397
印刷製本費	3,657,791	4,217,916	△ 560,125
旅費交通費	15,750	23,500	△ 7,750
通信運搬費	1,629,363	1,486,552	142,811
役務費	530,680	481,080	49,600
租税公課	1,321,800	1,309,000	12,800
賃借料	720,520	713,496	7,024
保険料	153,200	142,590	10,610
負担金	520,000	520,000	
減価償却費	333,137	193,954	139,183
管理費	1,771,133	1,706,829	64,304
給料手当	707,200	688,000	19,200
福利厚生費	103,801	99,284	4,517
需用費	278,339	216,720	61,619
旅費交通費	66,360	84,240	△ 17,880
役務費	514,492	476,225	38,267
会議費	1,728	1,892	△ 164
印刷製本費	19,360	38,720	△ 19,360
渉外費	8,236	7,950	286
減価償却費	17,534	10,208	7,326

(単位：円)

科 目	6 年 度	5 年 度	増 減
販売品仕入費	42,601	74,790	△ 32,189
雑費	11,482	8,800	2,682
経常費用計	31,605,489	31,935,161	△ 329,672
評価損益調整前経常増減額	16,818	4,423,579	△ 4,406,761
当期経常増減額	16,818	4,423,579	△ 4,406,761
当期一般正味財産増減額	16,818	4,423,579	△ 4,406,761
一般正味財産増減額	16,818	4,423,579	△ 4,406,761
一般正味財産期首残高	35,330,382	30,906,803	4,423,579
一般正味財産期末残高	35,347,200	35,330,382	16,818
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	135,347,200	135,330,382	16,818

令和7年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	1 講習会活動事業 (1) 犬のしつけ方教室を開催する。 (2) 犬・猫の飼い方講習会を開催する。 2 動物愛護推進事業 (1) 動物ふれあい教室を開催する。 (2) 犬・猫の譲渡会を開催する。 (3) 動物愛護週間事業を開催する。 (4) ボランティアの募集及び育成・管理を行う。 (5) ドッグランの利用を促進する。 (6) 親子を対象とした物づくり教室等を開催する。 (7) 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催する。 (8) 譲渡猫写真展を開催する。 (9) 犬・猫の終生飼養の必要性等を説いた公開セミナーを開催する。 3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集を行う。 4 広報活動 (1) 犬・猫の正しい飼育管理等の啓発資料を作成し、動物愛護の普及啓発を行う。 (2) ホームページを拡充し、各種イベントの案内・申込み、各種情報の授受を行う。 (3) 定期広報誌を発行する。	29,389
2 助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図る。	1,714
3 相談事業	1 「動物なんでも相談」事業を実施する。 2 犬・猫の適正飼養及び不妊去勢の啓発を行う。	333
4 調査研究事業	動物愛護や適正飼養に係る調査研究のために、各種DVD及び図書等を計画的に整備充実するとともに、整備した資料については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行う。	471
5 収益事業	愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行う。	100
6 公益財団法人の管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業及び管理運営を行う。	1,833
合 計		33,840

令和7年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 収支予算書

(単位：千円)

科 目	7年度	6年度	増△減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
イ 基本財産運用益			
基本財産受取利息	400	400	
ロ 受取会費			
正会員受取会費	1,300	1,300	
特別会員受取会費	700	700	
ハ 事業収益			
販売収益	100	100	
ニ 受取補助金等			
受取地方公共団体受託金	28,840	28,340	500
ホ 受取寄附金			
受取寄附金	1,210	500	710
手数料			
ヘ 雑収益			
受取利息	90	90	
経常収益計	32,640	31,430	1,210
(2) 経常費用			
イ 事業費			
給与手当	14,743	11,790	2,953
賃金	2,112	3,960	△ 1,848
福利厚生費	2,850	2,700	150
教材費	190	190	
需用費	120	120	
研修費	80	80	
諸謝金	80	100	△ 20
助成費	1,200	840	360
消耗品費	2,400	1,650	750
備品費	100	100	
印刷製本費	2,443	3,490	△ 1,047
旅費交通費	80	80	
通信運搬費	1,460	1,840	△ 380
役務費	650	710	△ 60
租税公課	1,400	1,400	
賃借料	850	850	
保険料	150	150	
負担金	520	520	
手数料			
減価償却費	476	90	386
ロ 管理費			
給与手当	768	707	61
福利厚生費	103	103	
需用費	100	100	
旅費交通費	180	190	△ 10
役務費	480	480	
備品費	100	100	
租税公課	10	10	
会議費	20	20	
印刷製本費	30	30	
渉外費	20	20	
減価償却費	25	5	20
雑費	100	100	
経常費用計	33,840	32,525	1,315
当期経常増減額	△ 1,200	△ 1,095	△ 105
当期一般正味財産増減額	△ 1,200	△ 1,095	△ 105
一般正味財産期首残高	28,673	29,768	△ 1,095
一般正味財産期末残高	27,473	28,673	△ 1,200
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	
正味財産期末残高	127,473	128,673	△ 1,200